# 高知県教育振興基本計画中間取りまとめ(素案)から(案)への変更点

### 旧: 3/25 中間取りまとめ(素案)

### はじめに

### 第1章 高知県の教育を取り巻く現状

- 1 高知の教育を取り巻く諸課題
- (1) 厳しい社会経済状況
- ①全国に約10年先行した少子高齢化
- ②低い有効求人倍率と若者等の県外流出
- ③高知市への一極集中と中山間地域の過疎化
- ④全国に比べ厳しい高知の家庭と暮らし
- (2) 県民の教育に対する期待レベルが低い状況 (平成20年度高知県県民世論調査結果より)
- (3) 高等教育機関や社会教育施設の現状 ①全国に比べ低い地元大学への進学
  - ②生涯学習を担う施設や内容が不十分
  - ③十分でない中山間地域での読書環境
- 子どもの教育を取り巻く現状
- (1)活用力に課題のある小学校、全国水準を大きく下回る 学力の中学校
- (2) 全国的にも高い中学生の私学進学
- (3) 一層の充実が求められる特別支援教育の現状
- (4) 希望の進学や就職に向けて十分でない高校生の学力
- (5) 全国的にも厳しい子どもの問題行動等
- (6) 全国最低水準にある子どもの体力・運動能力
- 3 教育に生かせる高知県の強み
- (1) 恵まれた自然環境とその特性を生かした産業
- (2) 進取の精神に富む偉大な先人を輩出した高知県
- (3)発揮される豊かな感性
- (4) 豊かな情操を育む読書活動
- 4 土佐の教育改革の検証と総括
  - (1) 改革の趣旨と主な取組
  - (2) 具体的な成果
  - (3)残された課題と継承すべき取組

### 第2章 現状の分析を踏まえた今後の方向性

- 1 現状のさらなる分析と考察
- (1) 課題解決に向けた追究の弱さ
- (2) 意識の共有の弱さ
- (3)組織的・継続的な取組の弱さ
- (4) 「強み」を生かす取組の弱さ
- (5) 他県に比べて弱い教育的な風土
- 2 今後の教育振興の方向性
- (1) 不退転の決意で課題を克服する
- (2) 「強み」をさらに生かし、伸ばす
- (3) 教育による社会変革を目指す

第3章 今後10年間を見通した基本目標

2

6

重点目標

具体的な施策

1 心身ともに健康で「徳」を持った土佐人を育てよう

人間形成の土台となる乳幼児教育を大切にしよう

各学校で将来の基礎・基本となる力を確実に身につけよう

学力や体力の低迷から脱却し、規範意識を高め、全国に

3 学ぶ喜びを感じ、生涯を通して自ら学んでいこう

4 教育の原点である家庭の教育力を高めよう

教育機関を整備・充実させよう

5 地域全体で学校にかかわり、教育を支えよう

第4章 今後5年間の重点目標と具体的に取り組む施策

(1) 教育の土台となる乳幼児教育・親育ちを重視し、

「子育て力」日本一の県を目指します。

### 変更·修正内容

### 項目名の追加・修正

- 1 項目の追加 : 2(7)、(8)
- 2 項目名修正 : 2(2)、(3)、(4)、(5)

# 新 : 4/23 中間取りまとめ(案)

- 第1章 高知県の教育を取り巻く現状
- 1 高知の教育を取り巻く諸課題

はじめに

- (1) 厳しい社会経済状況
- ①全国に約10年先行した少子高齢化
- ②低い有効求人倍率と若者等の県外流出 ③高知市への一極集中と中山間地域の過疎化
- ④全国に比べ厳しい高知の家庭と暮らし
- (2) 県民の教育に対する期待レベルが低い状況
- (平成20年度高知県県民世論調査結果より)
- (3) 高等教育機関や社会教育施設の現状
  - ①全国に比べ低い地元大学への進学 ②生涯学習を担う施設や内容が不十分
  - ③十分でない中山間地域での読書環境
- 2 子どもの教育を取り巻く現状
- (1)活用力に課題のある小学校、全国水準を大きく下回る学力の中学校
- (2) 中学生の私学進学の状況
- (3) 専門性の充実が求められる特別支援教育
- (4) 希望の進学や就職に不十分な高校生の学力
- (5) 全国の中でも厳しい状況にある生徒指導上の諸課題
- (6) 全国最低水準にある子どもの体力・運動能力
- (7) 全国とほぼ変わらない児童生徒の意欲・態度
- (8) 教職員・学校の現状
- 3 教育に生かせる高知県の強み
- (1) 恵まれた自然環境とその特性を生かした産業
- (2) 進取の精神に富む偉大な先人を輩出した高知県
- (3) 発揮される豊かな感性
- (4) 豊かな情操を育む読書活動等
- 4 土佐の教育改革の検証と総括
  - (1) 改革の趣旨と主な取組 (2) 具体的な成果

  - (3) 残された課題と継承すべき取組

### 第2章 現状のさらなる分析と考察

- 課題解決に向けた要因分析を繰り返し、深く追求していたか
- 意識の共有は高められていたか 2
- 教育行政が組織的・継続的に取り組まれていたか
- 「強み」を十分に生かす取組が強化されていたか
- 教育的な風土づくりが具体的に進められていたか 5

### 第3章 今後の教育振興の方向性

- 基本的な教育理念~目指すべき人間像~
- (1)郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたち の育成
- (2) 自ら学ぶ力をもった人間の育成
- 2 現状の分析を踏まえた今後の方向性
- (1) 将来の基礎となる力を確実に育成する教育の実現
- (2) 「強み」をさらに生かし、伸ばす教育の実現 (3) 教育による社会変革の実現
- 3 学校・家庭・地域・行政の果たすべき責任と役割
- (1) 学校は教育機関、教師は教育者です
- (2) 家庭は、子どもの教育の最終責任者です (3)地域は、教育的な風土づくりの出発点です
- (4) 行政は、教育水準を保証する責任者です

### ・章の移動 第3章→第4章 目標の変更 など

- 1 章の移動 : 第3章→第4章
- 2 項目名の変更 : 「基本目標」→「基本方針」
- 3「3つの視点」の追加

章の追加・変更等

1 章立て

(第2章→第2・3章)

→第3章の3

4 項目名の変更

・第2章の1→第2章(単独)章名変更

2 章の移動及び内容変更 第5章の2「学校・家庭・地域・行政の

第3章の1「基本的な教育理念」の追加

「現状の分析を踏まえた今後の方向性」

5 項目内容の修正: 第3章2(1)、(2)、(3)

第2章の2「今後の教育の方向性」

第2章の2→第3章(単独)

果たすべき責任と役割」

- 4 基本方針の追加 : 基本方針(3)、(8)
- 5 基本(旧:目標)方針の修正

# 第4章の1(1)、(2)、(5)、(6)、(7)、(9)

### 章の移動 など (第4章→第4・5章)

- 1 章の移動:第4章2→第5章
- 2「重点目標」の項目削除
- 3「重点目標」2(1)→基本方針(5)へ

# 第4章 3つの視点に基づく9つの基本方針

- <視点1 明るい未来を担う人づくり>
- (1) 心身ともに健やかで「夢」と「希望」にあふれた土佐人を育てよう
- (2) 生涯を通して自ら高め、ともに学び合う教育的な風土づくりを進めよう
- (3) 高知県の強みを生かした取組を進めよう

# <視点2 家庭や地域の教育力の向上>

- (4) 教育の原点である家庭の教育力を高めよう
- (5) 乳幼児教育や親育ち支援を充実し、確かな「子育て力」を育成しよう
- (6) 放課後や週末などに積極的に 学校にかかわり、地域全体で教育を支えよう

(8)子どもの成長を確かにする教職員の育成と組織的な学校づくりを進めよう

# <視点3 教育の質の向上と教育環境の整備>

- (7) 各学校**段階**で将来の基礎となる力を確実に身につけ**させ**よう
- (9) 教育振興の基盤となる 教育機関を整備・充実させよう

# 第5章 基本方針に基づく今後5年間の具体的な施策

第5章 目標の達成に向けた環境の醸成 1 危機感の共有と意欲的な機運の高まり

誇れる教育立県を目指します。

- 2 学校・家庭・地域・行政の果たすべき責任と役割
- (1) 学校・教員は、教育者として、子どもとしっかりと指導し 子どもの力を引き出します。 (2) 家庭は、保護者として、子どもに社会のルールを教え、
- 学校・地域に送ります。
- (3) 地域は、子育てにふさわしい環境をつくります。 (4) 行政は、学校現場を助言・指導するととにもに、
- しっかりと支援も行います。 3 教育課題の解決に向けた県内大学等の地域貢献
- 1 高知県教育振興基本計画推進会議の設置 2 教育版「地域アクションプラン」の策定と実行
- 3 教育振興に向けた県民運動の推進

第6章 計画の着実な推進と進捗管理

実施状況に応じた不断の検証と改善

#### 章の移動 など (第5章→第3章)

- 1 項目の削除: 第5章の1、3
- 2 項目の移動・修正 第5章の2→第3章の3へ

# 項目の追加

- 1 項目の追加 : 4(1)、(2)
- 2 項目の修正(文言の追加) 3(「~課題の共有と意欲的な機運の醸成

# 第6章 計画の着実な推進と進捗管理

- 1 高知県教育振興基本計画推進会議の設置
- 2 教育版「地域アクションプラン」の策定と実行
- 3 教育振興に向けた県民運動の推進 ~課題の共有と意欲的な機運の醸成~
- 4 実施状況に応じた不断の検証と改善
- (1)教育委員会評価を通じた毎年度の検証と改善
- (2) 「学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン」の目標達成の検証と合わせた 3年目の中間評価の実施